



比嘉 秀康 議員

### 台風対策について

**質** 昨年の8月に沖縄に直撃した台風6号は、あまり経験のない進路でも長時間の停電や、それに伴いアパートの断水、道路の冠水、また家屋の被害、赤土の流出、農作物や漁業の被害など多くの被害を受けました。その被害を受けた教訓に、新たに組み込まれた備えや対策があるのか伺う。

**答** 総務課長(宮平寛)

停電に伴いアパートの断水、そのような家庭に対して、ふれあい体験学習センターを活用し給水及びシャワー室の無料提供、充電スポットの開放を実施してきました。

しかし、温水の提供ができなかった。そのような反省を踏まえ業者とも調整して、今後は停電しても発電機を活用して温水が活用できる対策を取ってまいりました。また、沖縄電力と災害協定を締結している。

ます。連絡体制の構築を図り、平時から樹木伐採を行い停電被害の発生や道路の通行止め等の未然防止及び災害時の早期復旧を図るため、市町村道における障害物等の除去作業を業務分担すること、迅速な対応が可能になった。

**答** 建設課長(當山 国博)

台風や豪雨対策として、日々の日常管理が重要と考えていますので、巡回により目視確認の下に村道は側溝清掃を、河川は河口の浚渫やのり面の伐採を維持管理作業で行い災害への備えとしています。改善事項としては、台風等で氾濫が懸念されている喜瀬武原地域の億首川は、沖縄県が今年度事業で改修工事を行います。また、谷茶地内や村道多幸山線の琉球村付近の冠水対策は、恩納村が事業主体として沖縄防衛施設局の交付金事業を活用し、事業実施を行い改善に努めていきます。

### 学校プール有効活用について

**質** 学校プールを利用する年間の授業日数を伺う。

**答** 学校教育課長(仲村 泰弘)

毎年5月下旬から10月上旬にかけて、小中各学年ともに10時間程度となっております。技能の習得状況に応じて3時間程度プラスで設定されることもあります。

### 子供の習い事補助事業について

**質** 子供の学びのための学習塾やスポーツ、伝統文化などの学校以外での習い事に通わせる家庭が多く、それに伴い送迎や月々の月謝など多額な費用がかかります。恩納村を担う子供たちに多くの学びと好奇心をバックアップするために、習い事の補助事業ができないものか。

**答** 社会教育課長(山田 俊幸)

社会教育課では、現在公民館講座をはじめ博物館講座、文化情報センター講座など保護者と子供が一緒に参加して学べる講座をはじめ、高校生以下の生徒に対してアメリカホームステイプログラム派遣事業、アジア圏内の文化交流体験プログラム派遣事業などの異文化体験事業や自然生活体験事業(サバイバルキャンプ)などの体験事業を実施しているとともに、小学生から一般の方まで、クラブ活動で離島や県外に派遣される場合に、その旅費や宿泊費といった遠征費用の補助を行っています。

提案のあった民間の学習塾や習い事といった個人に向けての支援等については、現在は考えていません。



▲山田小学校プール

**質** 恩納村には一般の方が利用できるプール施設がありません。ですが身近な学校にはプールが各校にあります。文科省スポーツ庁のほうでも、スポーツを通じた健康寿命の延伸との期待から学校施設の活用が推進されています。それから本村の第6次総合計画、生涯スポーツの課題として、村民のスポーツを活発にするため学校プールの開放も目標に掲げています。短期間の授業での利用ではもったいないと思います。ぜひ一般開放して有効活用するべきだと思いますが、当局の見解を伺う。

**答** 社会教育課長(山田 俊幸)

村民の皆様からの電話等の問合せがあり、学校プールを効果的に活用できるか、担当課でも協議しました。担当課としても、しっかり今後周知をしながら小中学校の夏休みに、監視員が配置されている期間中において一般の方々も大いに活用してもらえればと考えています。

**質** 禁止事項等看板設置、多言語版の検討は。

**答** 建設課長(當山 国博)

大きい看板は英語、韓国語、中国語を表示していますが、護岸に貼り付ける小看板は抜けている部分があり、協議しながら多言語表示できるよう努力していきたい。

### 上下水道の整備について

**質** 上下水道の耐震化事業、本管布設工事の現状と今後の計画は。

**答** 上下水道課長(新城 綱規)

耐震化事業本管工事整備予定は約4万4千311m計画の内、耐震化整備済みが3千724mで耐震化率8.4%です。今後の計画は水道施設等整備事業を活用し、令和14年度までの長期計画の中で令和5年度から順次計画しており、その中で要求額より補助金減額が生じ多少遅れてはいますが、引き続き整備してまいります。

**質** 県企業局の料金改定による村の想定は。

**答** 上下水道課長(新城 綱規)

本村も水道管布設から40年以上経過し、老朽管布設替や施設の維持管理には膨大な予算がかかると思われま

今後、水道水の安定供給を継続していくため料金の改定を考えています。

**質** 下水道事業で最近の物価高騰による宅内配管接続で見積金額等の業者からの声は。

**答** 上下水道課長(新城 綱規)

確かに物価高騰による影響で若干工事費が上がっているというのは聞いています。

**質** 村長に伺う。今後この高騰の傾向は上がっていく。村補助金の部分の予算措置、軽減措置等を考えられないか。

**答** 村長(長浜 善司)

工事に係る資材も高騰、業者の皆さんも大変ということを承知しているところです。直近でも宅内配管接続工事が行われ、補助金を交付している状況です。補助額を増額した場合、既に補助金交付を受けた世帯との格差が生じることもあります。また予算確保に限りもありますので今後、調査研究を行っていきたくと考えています。



### 村海岸線の保全管理と海岸利用保全ルールについて



大城 堅三 議員

**質** 海岸線の保全管理と高潮、高波対策事業進捗と、瀬良垣区の現状を伺う。

**答** 建設課長(當山 国博)

恩納村海岸管理条例や施行規則に基づき日常的管理、海岸の維持管理、利用促進、占用許可及び行為の制限を沖縄県から権限移譲を受け行っています。海岸施設の修繕事業は県の業務となりま

**質** 瀬良垣集落北東側、石積みの護岸破損もあり、周辺の砂の流出対策の県への要請は。

**答** 建設課長(當山 国博)

令和5年度の沖縄県土木建築部と北